

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：もみじ保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：福田 秀子	定員（利用人数）：140名 （利用人数：125名）
所在地：〒227-0067 横浜市青葉区松風台18-10	
TEL：045-961-7131	ホームページ： <a href="https://momiji-aoba.or.jp/">https://momiji-aoba.or.jp/</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 1979年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 博愛福祉会	
職員数	常勤職員： 17名 非常勤職員 29名
専門職員	園長 1名 主任 1名
	保育士 30名 保育補助 10名
	栄養士 1名 相談員 1名
	事務員 3名
施設・設備 の概要	保育室 7室 トイレ 7か所
	沐浴室 1室 調乳室 1室
	調理室 1室 事務室 1室
	職員休憩室 1室 産明け室 1室
	園庭 1か所 屋上庭園 1か所

③理念・基本方針

【保育理念】

いのちのリレーをサポートすること

【運営方針】

養護と教育を一体的に支援し、健康でかつ情緒が安定する環境のもと健康・人間関係・環境・言葉・表現の各領域で教育し、“生きる力”の基礎となる心情・意欲・態度を育む。

【保育目標】

地域と共に歩み心身の調和のとれた人間形成

④施設・事業所の特徴的な取組

園は、閑静な住宅街に立地し、近隣には自然豊かな公園や小学校があり、子どもたちは四季の移ろいを感じながら、近隣散歩や、また大小の公園ではのびのびとした活動をしています。また、近隣の小学校との交流事業をしたり、関係機関との豊かな経験ができる環境で過ごしています。このような保育環境のもと、下記のような取り組みを行っています。

[戸外活動の充実]

0歳児クラスをはじめ、全年齢のクラス児は1日1回以上の戸外遊びを行っていくこ

とを目指しています。園庭遊びの他、子どもの健康状態やその日の天候状況により、近隣の散歩や公園に出掛け、自然に触れる体験やのびのびと体を動かして遊ぶ活動を取り入れています。また、全年齢別クラスは戸外活動の経験を重ねながら、交通ルールやマナーを体験から学び、身につけていけるようにしています。近隣への散歩では、行った先で出会った近隣住人や他の保育園の子どもたちや職員に挨拶を交わす等、地域の方との繋がりも大切にしています。

#### [豊かな生活体験]

乳児クラスでは、担当児制を行い、特定の保育士と1対1の密接な関りのもと愛着関係をしっかりと築き、そのことを土台に、発達段階に応じ、より多くの人と出会うことで、豊かな生活体験を重ねることができるようになっています。また、毎日毎日の繰り返しを重ねることにより、心の安定が得られるのを目的にしています。幼児クラスでは外部講師による音楽・体操・英語のレッスンを年間を通して行っています。子どもたちは、その経験を通し、自分の好きなことを見つけ、主体的にやってみようという意欲を身につけています。また、保育園の先生以外の講師との関わりを通じ、より多くの人と出会う経験をしています。そのような豊かな生活体験を重ねることで、小学校へ就学した際に自信をもって過ごしたり、新たな環境でも共通の話題を見つけ友達をつくるきっかけとなるようにしています。

また、園内の畑を利用し、野菜や花を栽培する体験を通し、草花が生長し枯れていく命の姿を見つめたり、栽培した野菜を食べたり、調べたりする体験を通し食に興味を持ったり食事の大切さを体得しています。

#### [グループ園との交流]

当法人には当園の他3つのグループ園があり、近隣のグループ園とは頻りに交流を行ったり、互いの園を行き来する機会を設けています。また、行事を合同で開催することで子どもだけでなく、職員間の交流や共同の場面において互いに思いやりができています。そして、グループ園の職員と一緒に研修会を行ったり、日頃の保育の情報交換を行ったりすることを通じ、お互いに高め合える関係性を法人全体で築いています。

#### [土曜日共同保育の実施]

当園を含め、グループ園（3園）で横浜市の指導のもと土曜日の共同保育を実施しています。3園の職員混合のグループでの勤務体制で、普段は別の園で勤務している職員が互いに顔を合わせ保育の情報交換の場となっています。また、3園の職員が共同保育をすることで、概ね月3回の週休2日制を達成し、職員の働き方の向上実現の一端となっています。

### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年9月1日（契約日）～ 令和5年4月25日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2013年度）

### ⑥総評

#### ◇特長や今後期待される点

1) 充実した戸外活動と豊かな生活体験で生きる力を育てています

乳児は担当児制で愛着関係を築き、発達段階に応じて多くの人と出会い、豊かな生活体験を重ねることができるようになっています。幼児は音楽・体操・英語のレッスンを通じて、好きなことを見つけ、主体的にやってみようという意欲を身につけるようにすすめています。子どもたちは1日1回以上、戸外に遊びに行っています。園内の畑

を利用して野菜や花を栽培する体験を通し、草花が生長し枯れていく命の姿を見つめ、栽培した野菜を食べたり、調べたりする体験を通して食に興味を持っています。子どもたちの体力を考えて公園を選び、散歩に出掛け、自然に触れる体験や体をのびのびと動かして遊ぶ活動を取り入れています。

2) 職員同士の信頼関係が築かれ、安心して保育に取り組んでいます

園長や園長代理、副園長が、さまざまな時間帯で保育に入り、現場の課題や職員の思いをタイムリーに把握することに努めています。職員は「楽しいこと探し」をテーマに保育に取り組み、改善提案があればすぐに取り入れています。職員同士も「チーム保育」に向けて、日ごろから先輩が後輩の指導や相談に応じ、意見を出し合いながらチームで保育を進めています。園の組織的な取組と、職員のチームワークで保育を実践しています。一人で頑張るのではないという安心感が、職員一人ひとりの質の高い保育の提供につながっています。人間関係が良好で、多様な働き方が実現する働きやすい環境のため、出産育児の休職後も職員が復職しています。

3) 地域と協力関係を確立し、地域貢献をしています

園長は防災委員や虐待対応委員を務め、主任は外部の保育研究会に参加して地域と連携を図っています。グループ園や近隣の小学校との交流も行っています。地域子育て事業にも積極的に参加して、講座開設や交流活動、園の地域開放を数多く実施しています。地域交流により園での保育活動が広がり、災害時などでの協力体制と共に、保育の技術をもとに地域貢献をしています。

4) 新たな課題解決のために計画を明示して取り組むことを期待します

日々の保育や運営、地域貢献などについて、子どもと保護者の最善を考慮して質の高い保育の提供に努めています。社会情勢の変化に伴い、園が捉えている課題も変化していることを認識しています。保護者の意向や業務のICT化など状況の変化もあり、園として今後の計画を中期計画で明示し、事業計画に目標設定と改善施策を展開することが望まれます。計画の明示により、全職員が意思統一して取り組み、達成することが期待されます。

5) 保護者が相談したり意見を言いやすい雰囲気づくりが期待されます

園長をはじめ園長代理や副園長、主任保育士、事務としっかりした組織対応、経験を基にした保育体制が出来ています。歴史ある保育園と経験豊かな職員により保育がしっかりと行われています。強固な体制ですが、保護者からは意見が言いづらいと思われる状況もあります。一部、意見の言い易い雰囲気作りの課題も提起されています。家庭と保育園が一体となって保育を行うために、意見や相談を言いやすい雰囲気の中、両者が協力して保育を行うことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価、受審制度が始まった年度に当園は初回の受審経験をしました。その時は???マークばかりで、おそろおそろの受審でした。年月の経過があるにもかかわらず、遅々とした歩みを反省するばかりです。そして、いよいよ今回の受審では、第三者評価についての説明を担当していただく株式会社フィールズの責任者から受審するに当たっての説明をいただく機会を得た為か、職員が受審に向けて一丸となっていた姿が見られました。取り組みに対して、職員の自己評価による職務に対する熱心な向上心が感じられました。受審結果をふまえ、保護者からの御意見等を熟知し、課題を園職員全員で共有し今後、改善に向けていこうと考えます。

保育園は常に子ども一人一人の発育発達を重点にした養護・教育を心がけ、加えて職員が働きやすい職場でありたいと思います。

- ⑧第三者評価結果  
別紙2のとおり